

# カーテンの お取り扱いについて

このたびは、キロニーカーテンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
いつまでも美しくご愛用いただけるよう、お取り扱い方法についてご説明させていただきます。



株式会社 キロニー

TEL.03-6895-0112

このしおりは大切に保管してください。

## お取り扱い上のご注意

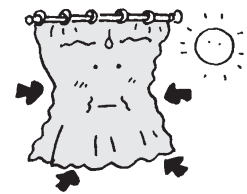
**たたみジワ**：カーテンの素材によっては梱包の際のたたみジワが残る場合がありますが、そのままレールに吊っていただければ、しばらくしますとシワは自然にとれます。(ただし、素材によっては吊ただけではとれない場合がありますので、その場合にはご相談ください。)



**ニオイ**：カーテンに使用している繊維の中には、特有のニオイを発するものがありますが、これは人体への影響はなく、また、臭気は時間とともに薄れていきますのでご安心ください。



**のびぢみ**：カーテンは繊維の特質上、高温多湿をさらい、お部屋の温度や湿度によって多少伸縮することがあります。とくに、素材にレーヨンや綿、絹を多く使用しているカーテンは、伸縮が大きいものもありますのでご了承ください。

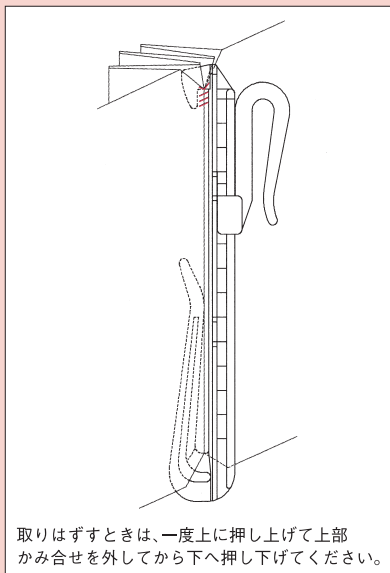


**フックについて**：カーテンに付けてあるフックは、強い力や衝撃を与えますと変型したり折れたりすることがありますので、ご注意ください。なお、フックは差込みアジャスターフック（または金属フック）、キロニー・オリジナルギャザーフック（上部芯地がギャザーテープの場合）を使用しています。

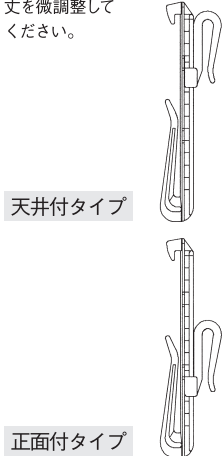
アジャスターフックは、フックを軽く押し下げるとお好みの位置にセットでき、カーテンの丈を微調整することができます。フックの位置が下に行き過ぎた場合は、下方向に一度抜いて、もう一度上から差込み、リセットしてください。

### ●差込みアジャスターフック

洗濯の際は、フックを取りはずして洗ってください。

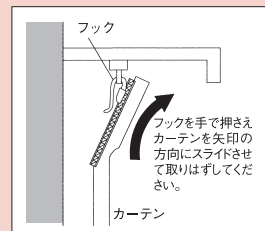


フックの位置は、下図のように2種類のタイプがあります。また、フックは5mm単位で移動ができますので必要に応じてカーテンの丈を微調整してください。



### ※ご注意

洗濯の際などカーテンを取りはずす場合、レールの取付け位置によっては、フックがレールランナーからはずれにくい場合があります。そのまま無理にはずそうとすると、フックが曲がったり、折れたりします。そのようなときは、一旦フックをカーテンから取りはずしますと、フックを傷めずスムーズに取りはずすことができます。

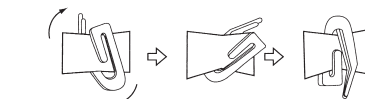


### ●オリジナルギャザーフック

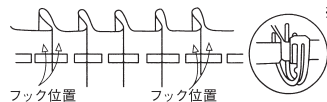
洗濯の際は、フックを付けたまま洗濯ネットに入れてください。もしはずれた場合でも簡単に取付けられます。また、ギャザーテープ紐のエンドは、コードタイディー（紐巻き）で処理されています。洗濯後にヒダが乱れた場合は、コードタイディーをほどき、ギャザーを伸ばして再調整してください。

#### ギャザーフックの取付け方

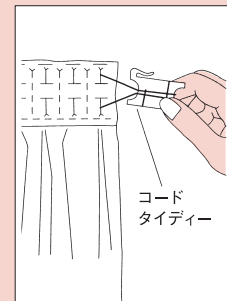
プチギャザー・スキップギャザーの場合



スマックギャザーの場合



※ギャザー3つごとにヒダを挟むようにフックの足を二股にかけてください。



## カーテンのお手入れ方法

カーテンは素材や加工法によって洗濯などの取扱い方法が変わります。取扱い絵表示はカーテンに必ず縫い付けてありますので、表示を守り、カーテンを長持ちさせてください。(取扱い絵表示については、表面をご覧ください。)

### 日常のお手入れ

カーテンの汚れは、室内のチリや外気のホコリ、また手あかや煙草の煙などが原因です。いずれも時間がたつと落ちにくくなるので、日頃から汚れをためないように心掛けてください。特にヒダの折山やタッセルで縛った部分はホコリがたまりやすいもの。カーテンの表面に軽く掃除機をかけたり、たたいてホコリを落としてください。



- 素材にポリエステルを含むカーテンは、洗い過ぎると落ちた汚れが逆についてしまう場合がありますので洗濯は5~10分以内にしてください。
- 脱水は20~30秒程度が適当です。
- 素材が合成繊維のカーテンは、脱水の時間が長いとシワが取れにくくなり、生地をいためます。ドレープカーテンは30秒~1分以内、レース・ポイルカーテンは8~13秒以内を目安にしてください。

#### ②手洗いの場合

- 30℃以下の水で押し洗いにします。もみ洗いはシワの原因となるので避けてください。
- その他は洗濯機洗いと同じです。



#### ③つけ置き洗いの場合

(汚れのひどいカーテンに効果的です)

- 水温は50~60℃位、30分~1時間程度が適当です。洗剤濃度は洗剤に表示されている濃度をお守りください。(素材・つけておく時間・洗剤濃度により、一度取れた汚れが逆についてしまう場合がありますのでご注意ください。)



## 取扱い絵表示の見方

### 1. 洗いの方

液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができます。

液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができます。

洗濯処理はできません。

### 2. 漂白処理

酸素系漂白剤による漂白処理ができますが、塩素系漂白剤による漂白処理はできません。

漂白処理はできません。

### 3. タンブル乾燥

洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできません。

### 4. 干し方

日陰で吊り干しをしてください。

### 5. アイロン仕上げ

底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができます。

アイロン仕上げ処理はできません。

### 6. ドライクリーニング

弱い操作により、石油系溶剤(蒸留温度150℃~210℃、引火点38℃~70℃)での商業ドライクリーニング処理ができます。

ドライクリーニング処理はできません。

弱い操作により、商業ウェットクリーニング処理ができます。

- 洗いの絵柄が のときは、ご家庭での洗濯はできません。クリーニング店にお出してください。
- 洗いの絵柄が あるいは のときは、ご家庭での洗濯ができます。(絵柄の内容をよくご確認ください。)

ウェットクリーニング処理はできません。

### お洗濯の目安

厚手のカーテンなどは最低年1回、薄手のカーテン・レースなどは最低年2回のお洗濯をお勧めします。

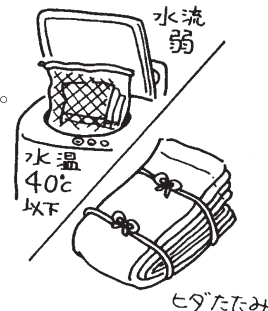
## ご家庭でお洗濯をする場合

必ず取扱い表示に従ってください。

洗剤は、中性洗剤をご使用ください。漂白剤は、洗濯絵表示に従ってご使用ください。すすぎの時に柔軟剤を入れると仕上がりがきれいになります。

#### ①洗濯機で洗濯する場合

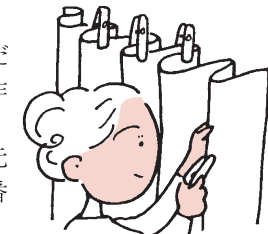
- ホコリをよく払ったら、フックを全部取ります。
- ヒダ山に合わせたヒダたたみにし、さらに大きな洗濯ネットがあれば、ネットに入れて洗います。一度に洗濯するカーテンの枚数は1~2枚が適当です。
- 水量は最大で、水流は弱水流にし、40℃以下のぬるま湯か水で洗濯してください。



- つけ置き後は、洗濯機洗いか手洗いをしてください。

#### ④乾燥方法

- 屋外で干す場合は必ず陰干しにしてください。洗濯ばさみをたくさん使い、ヒダを作る感じで干します。
- 水気がだいたいとれていれば、室内で元のレールに吊って自然に乾かすのが一番よい方法です。



収縮・シワの原因となる乾燥機の使用は絶対にしないでください。

## クリーニング店に出す場合の注意

- まず、信用の置けるクリーニング店を選びましょう。
- フックは必ずはずして出すようにしましょう。
- ドライクリーニングの場合も、結構トラブルの多いものです。クリーニングに出す場合は必ず寸法と取扱い絵表示を双方で確認しましょう。



このカーテンの裏側上部に「取扱い絵表示ラベル」が縫い付けられています。洗濯の際には、絵柄の内容をよくお確かめの上、お取り扱いください。

## 防災ラベルの見方

防災ラベルは防災性能が水洗い、あるいはドライクリーニングによって変化するかどうかを基準に、4種類に分かれています。ただし、ここでいう防災性能とは、燃えないということではなく、防災品であることによって「燃え広がりにくい」ということです。したがって、防災品であっても火気には近づけないでください。火災の原因になります。